

リデュース・リユースを重視した3R強化・促進プログラム「見える化」推進費

51百万円(36百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

1. 事業の概要

平成21年度内閣府世論調査によると、ごみ問題への関心は高い一方で、3R行動の実施状況については、マイバッグ持参等を除き、未だ50%未満に留まっている。特に、循環型社会形成推進基本法に定める廃棄物・リサイクル対策の優先順位に従い、リデュース、リユースを重視して、高い水準にある国民のごみ問題への関心や3Rに対する意識を具体的な行動に結びつけるための仕組み、条件整備を一層進める必要がある。

このため、3R行動による環境負荷削減効果を見える化するための手法等を開発し、広く国民に3R行動の効果を「見える化」することにより、国民の行動を促し、環境負荷削減と経済成長を両立させたより質の高い循環型社会の形成を図る。

2. 事業計画

リデュース・リユースの消費者等の意識・実態調査

製造業者や小売業者等と連携して、消費者等の意識・実態調査を実施し、リデュース・リユースの重点化の方向を明確化する。

3Rによる環境負荷削減効果の見える化指標及び簡易計算手法の開発
個別の製品、品目、行動等の評価結果を集積し、可能な限り全体を統合的に「見える化」する指標、計算手法を開発する。

見える化指標を用いた「見える化ツール」の開発・普及

の手法を用いた3R行動効果の簡易測定ツールを提供する。

循環型連携事業の評価手法開発実証事業

地域で行われている循環型社会を支える連携協働の取組の効果を評価

・測定する手法の開発、実証事業を行う。

循環型社会に向けた普及啓発事業の実施

見える化手法や効果の高い取組を全国大会等を通じて普及啓発する。

3. 施策の効果

3R行動の見える化によるわかりやすく、正確な情報の提供により、事業者、国民の3R行動を促進し、環境負荷削減と経済成長を両立させたより質の高い循環型社会に向けた取組の加速化が図られる。

リデュース・リユースを重視した3R強化・促進プログラム「見える化」推進

背景

第2次循環計画(H20.3閣議決定)の取組指標目標(H27年度)

- ・廃棄物の減量化等の意識を持つ・・・国民の約90%
- ・廃棄物の減量化等について行動する・・・国民約50%

< H21年度世論調査 >

意識→92.4%

行動→マイバッグ持参、詰め替え製品の購入等を除き、多くは未だ50%未満

意識と行動の乖離

3R環境負荷削減の見える化の推進による3R行動の更なる促進

製造業者や小売業者等と連携した、消費者等の意識・実態調査による重点化の明確化

事業者・消費者に向けて

個別の3R行動の見える化

個別の3R効果の見える化手法の開発

個別の製品、品目、行動の評価結果を集結し、3R行動プロセス全体効果が見える化する指標、計算手法を開発

見える化ツールの開発・普及

個別の3R行動効果の測定ツールの提供

地域の取組に向けて

地域の連携協働の取組の全体効果の見える化

取組全体の効果の見える化手法の開発

地域で行われている循環型社会を支える連携協働の取組の効果(廃棄物削減効果、GHG削減効果等)を評価・測定する手法の開発

評価手法の実証事業

見える化手法そのものや効果の高い取組を全国大会等を通して普及啓発

見える化によるわかりやすく、正確な情報に基づく3R行動の促進